



# 岩村みゆき 議員

Miyuki Iwamura



6月定例会

トピックス

一般質問

アンケート

追跡

## Q. 女性のための防災ハンドブックを A. 女性の視点の情報提供を検討



▲豊川市発行のハンドブック

**Q** 女性の視点の防災ブック「東京暮らし防災」が非常に好評で再版されている。女性の防災への参画を促すとともに、都民のいつそつきめ細かな災害への備えを促進することを目的に作成されている。また、阪神淡路大震災や東日本大震災のあと、性犯罪やDVの被害にあった女性がいたと聞く。知っているのと知らないのでは、対応が違ってくる。町でも女性のための防災ハンドブックを作成してはどうか。

**A** 総務部長  
女性の視点を防災対策に取り入れることは大変重要と考えている。町では、防災会議、各小学校区自主防災会などへの積極的な女性参加を推進しているところである。他市町のハンドブックを参考に、さまざまな媒体を介して、女性の視点を取り入れた防災情報の提供を検討する。

## Q. すべての人にやさしい情報を A. 色の使い方に配慮する

**Q** 色覚(色の感じ方)は人それぞれ違うている。見分けやすくするための色使いが、人によつては、かえって見分けにくくなるなど、色による情報を正確に受け取れず困っている人たち(色弱者)がいる。一般的な色覚の方も含めて、誰に対してもきちんと情報が伝わるように、色の使い方にあらかじめ配慮することを「カラーユニバーサルデザイン」という。町は、どのようにお考えか。

**A** 生活福祉部長  
色の使い方に配慮するといふ考え方は非常

に大切であり、適切な取り組みが必要と認識している。

**Q** 県が発行した「視覚情報のカラーユニバーサルデザインガイドブック」の中にセルフチェックリストが記載されているが、利用してはどうか。

**A** 生活福祉部長  
セルフチェックリストの各項目を意識することにより、色弱者に配慮した印刷物を効果的に作成することができるため、庁内で情報共有したい。